

2019 災害時避難所実習 at 中央高校 役割実施記録から 令和元年 7 月 30 日（火）18：00～20：00 at 大阪市立中央高等学校

班	役割	指摘事項
隊長 副隊長	・避難所・物資庫鍵開け ・受付設定・役割分担 ・本部運営	・物資庫の鍵が簡単に開くようになった。 ・受付済シールがはがれやすい。一昼夜持たない。控シールは良いとして、ガムテープが良いのでは。 ・北大江公園担当副隊長以外、全員で行動。
受付	・受付運営・記録 ・要支援者案内	・受付で男女ぐらいいは分けた方が良い。⇔聞かれるのを嫌がる人もいる。 ・聞き取り代筆。停電時には使えないが、エレベーターで7階の避難場所と便所へ行った。車いすで便所は使えない。 ・人員にゆとりがあれば要配慮者に人がつくようにしたい。 ・大手前高校は柔道場が畳だが、8階武道場は板敷。←倉庫に置き畳がある。
総務部	・防災無線 ・掲示板設置・記入	・使用体験せず。事務室での充電を確認した。 ・掲示板設置せず。特設公衆電話を接続してみた。3つの端子とも導通を確認。導通すると機器にランプがつく。
管理部 設営班	・避難場所開錠・管理 ・開設物資運搬・設営	・全員で、階段とエレベーターに分かれ、地域で鍵を預かっている7階体育館、8階武道場へ移動。 ・7階体育室は開いていて工事中であった。8階武道場を開錠。空調機はない。（公立学校の体育館に空調設備はない） ・7階の男子便所は洋1、和1、女子便所は洋1、和2、8階に便所はない。グラウンド脇は改造工事後確認。
管理部 衛生班	・簡易トイレ設営・点検	・中央区役所の立会指導で簡易トイレを体験。 ・備蓄のトイレセット（消臭凝固剤）は1回ごと使用。小便是複数回の可能性。 ・中央高校の給水方式は受水槽・加圧ポンプ方式なので停電すると水道が使えない。
管理部 電源・照明班	・照明設置・点灯	・使用確認せず。
救護部 消火班	・可搬式ポンプ体験	・北大江公園に移動し、消防署立会指導で可搬式ポンプ庫の可搬式ポンプ起動と防火水槽マンホール蓋開けを体験。 ・可搬式ポンプは消防署が毎月1回点検しているが、油漏れがあったので再点検する。
救護部 救護班	・けが人応急救護・搬送	・日赤指導員の指導で、けが人の応急救護や簡易担架による搬送などを体験。 ・三角巾の使い方や毛布による担架での搬送を習得。三角巾の有用性や毛布担架には6～8人が必要なことが判った。 ・日赤指導員の活動は助け合いの形を伝えることであり、寒暑への対応など様々なテーマの指導を活用してほしい。
食料部	・非常食準備	・使用体験せず。
物資部	・備蓄物資庫管理 ・携帯スロープ試用	・初動の物資移動と確認のみ。最初に運ぶ物資の黄色テープ表示物は見えるところに置いてありわかった。

○ 全般

- ・ 7階、8階の避難場所へのものの運搬や、トイレをどうするか、人をどう配置するか、情報をどう伝達するか(トランシーバーが必要ではないか)など、運営マニュアルづくりを始めればわかってくるのではないか。
- ・ 7階、8階の避難場所だけでなく、1階かその上下に部屋を確保できるよう協議する必要があるのではないか。
- ・ 小学校が避難所になっている地域と違い、地域の人が校内に入る機会がほとんどないので、その機会づくりを検討する必要がある。
- ・ 非常時にはマンションそれぞれでこの実習のような役割分担が必要であり、マンションごとにも備える必要がある。

○ 総評

- ・ 昨年に比べ参加者が少なく、少人数雨で密度の濃い実習ができた。実際に避難者が多く集まることを思うと、普段やっている訓練を見直す必要がある。7階、8階に避難者がいることを想定した実習を検討する必要がある。そのためには参加者を増やす必要がある。